

宮城県津波浸水想定に係る 住民説明会

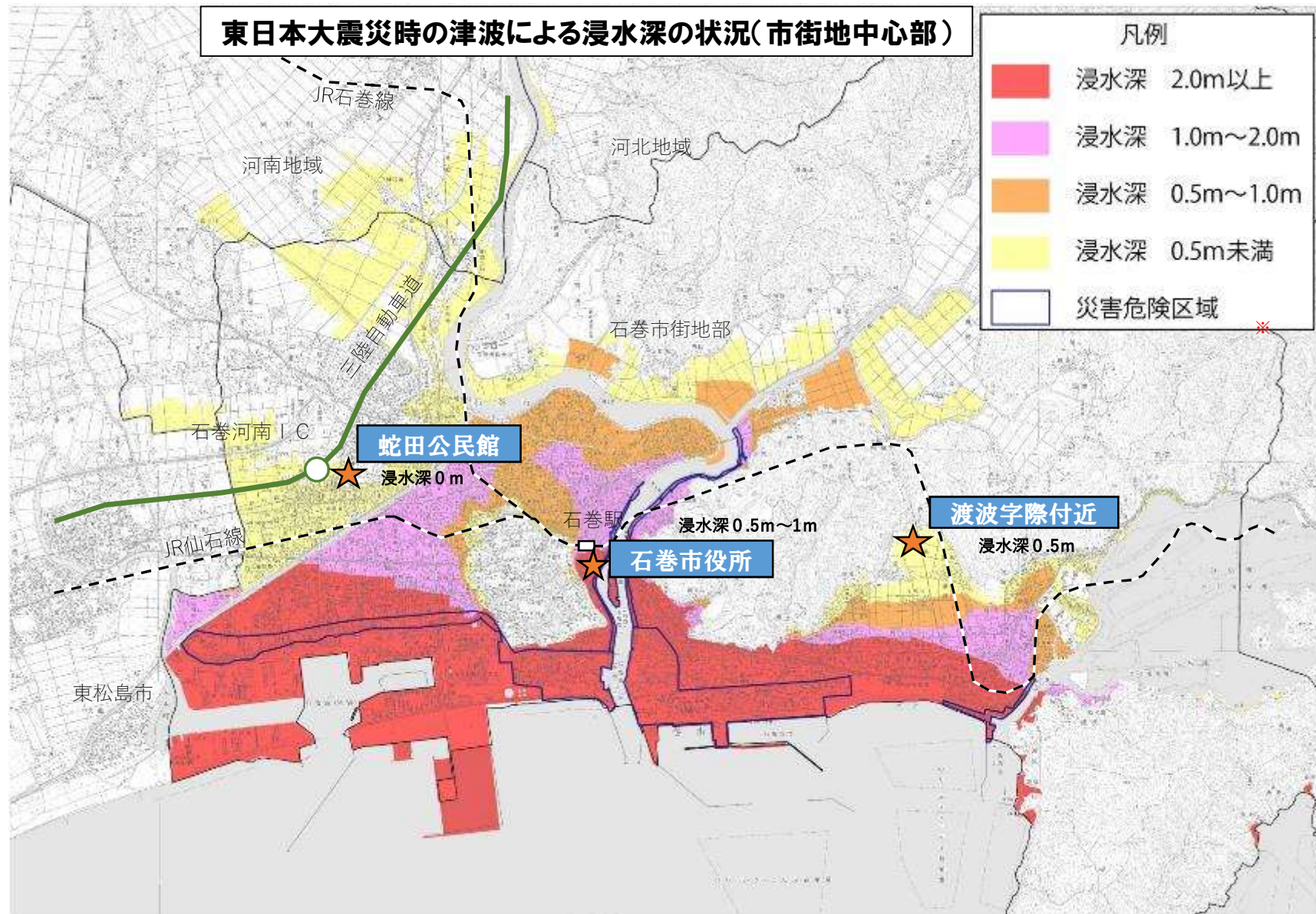
～『なんとしても人命を守る』～



石巻市総務部危機対策課
令和4年6月



東日本大震災における浸水状況

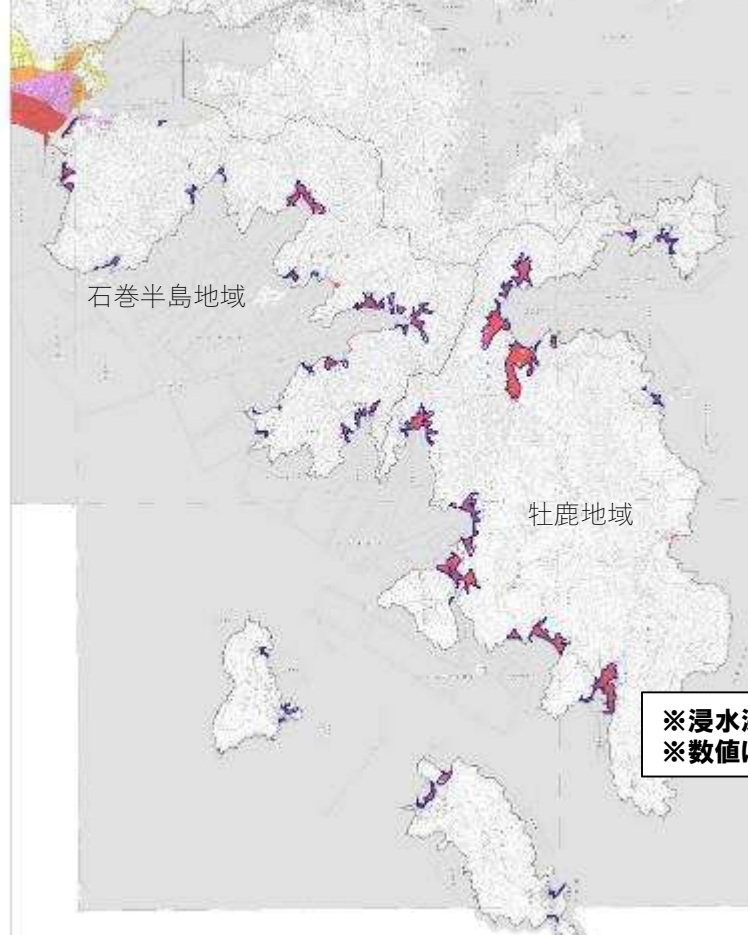


東日本大震災における浸水状況

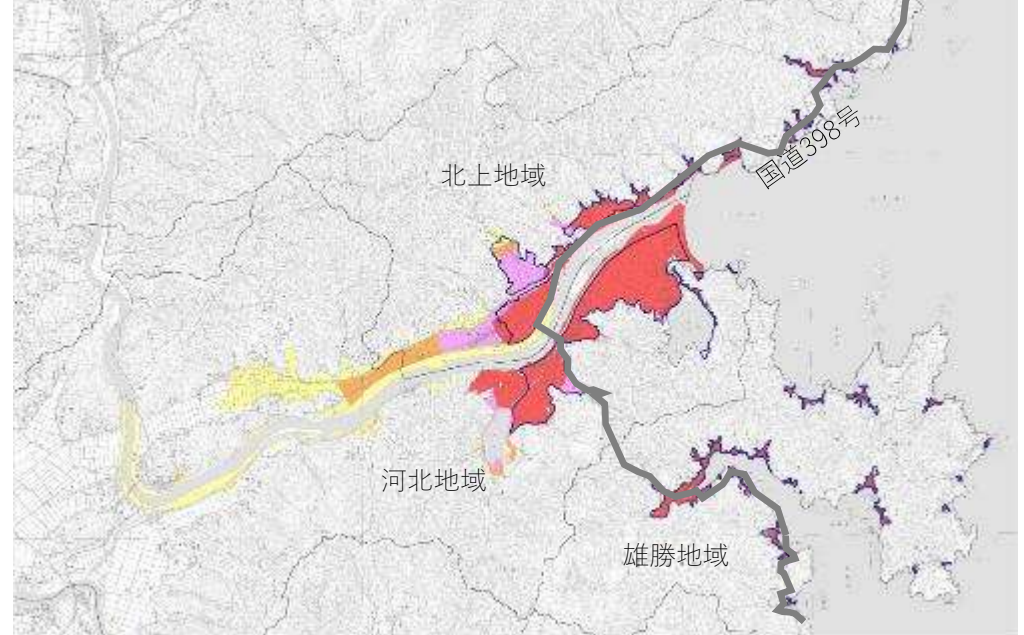
浸水区域（石巻半島地域・牡鹿）

浸水区域（河北・雄勝・北上）

津波による浸水深の状況（石巻半島地域・牡鹿）



津波による浸水深の状況（河北・雄勝・北上）



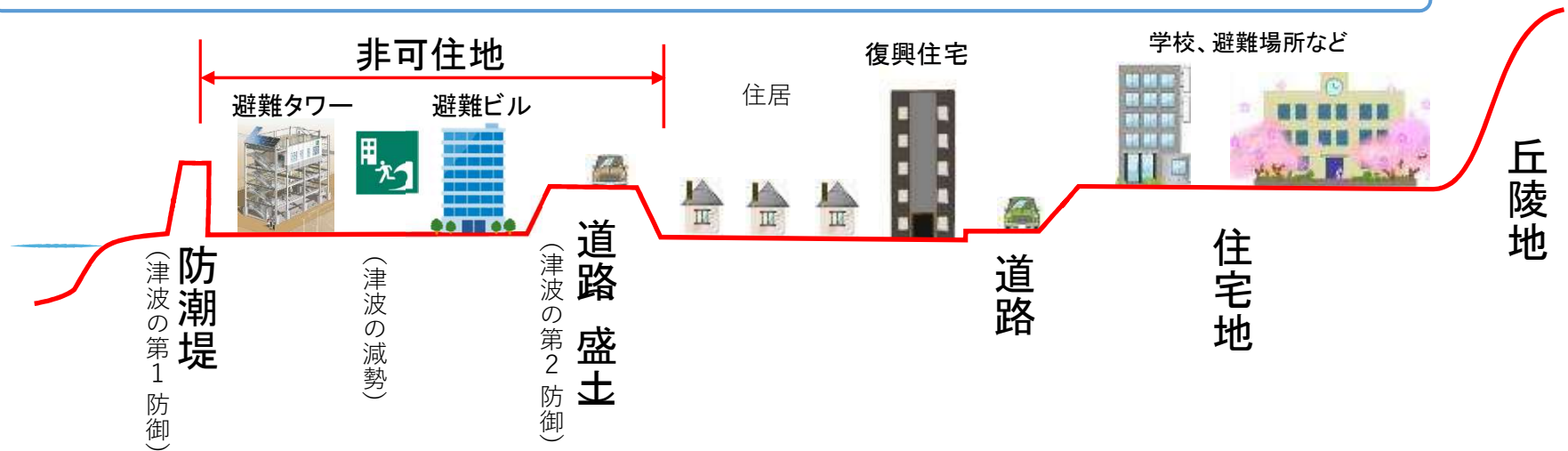
※災害危険区域とは、津波等の自然災害から市民の生命を守るため、法律に基づき、居住の用に供する建築物(住宅・アパート・ホテル・民宿・児童福祉施設・医療施設など)の新築・建替え・増改築を禁止するものです。石巻市は平成24年12月1日に区域指定を行いました。

凡例	
	浸水深 2.0m以上
	浸水深 1.0m～2.0m
	浸水深 0.5m～1.0m
	浸水深 0.5m未満
	災害危険区域 ※

震災後のまちづくりについて

高台のない市街地のイメージ（主に、市街地部）

二重の防御（堤防または道路）で津波を減勢し、住居や学校、病院を守る



○災害に強く安心安全でコンパクトなまちづくりのための土地利用

多重防御施設による市街地の安全性の向上と、
内海橋や石巻かわみなど大橋、各街路の整備
による市内のアクセス性向上

○津波防御の考え方

二重の防御（堤防または高盛土道路等）で、
津波を減勢し、住居、学校、病院等を
内陸側の可住地に配置



▲河川堤防

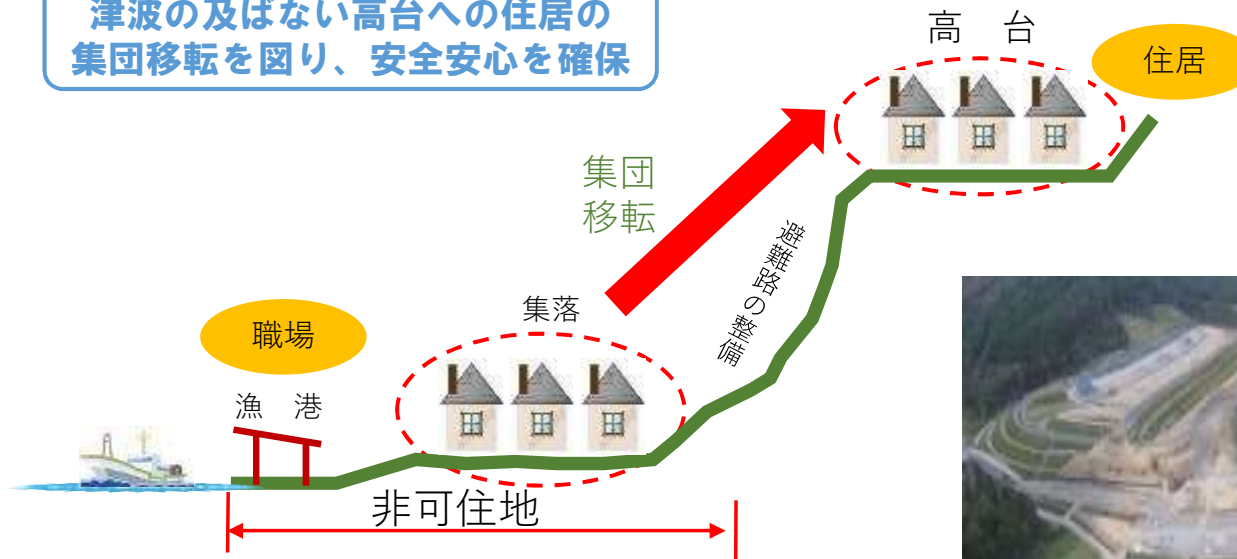


▲高盛土道路
(門脇流留線魚町工区)

震災後のまちづくりについて

高台に囲まれた漁業集落のイメージ（主に、半島沿岸部）

津波の及ばない高台への住居の
集団移転を図り、安全安心を確保

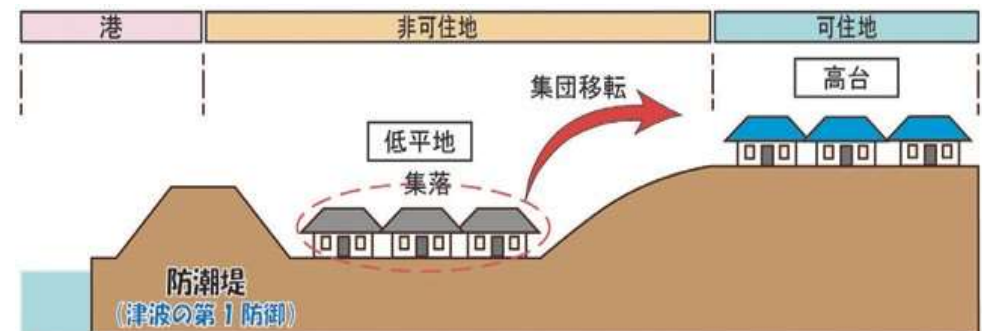


○津波防御の考え方

津波の危険性の少ない安全な高台へ住居を
集団移転

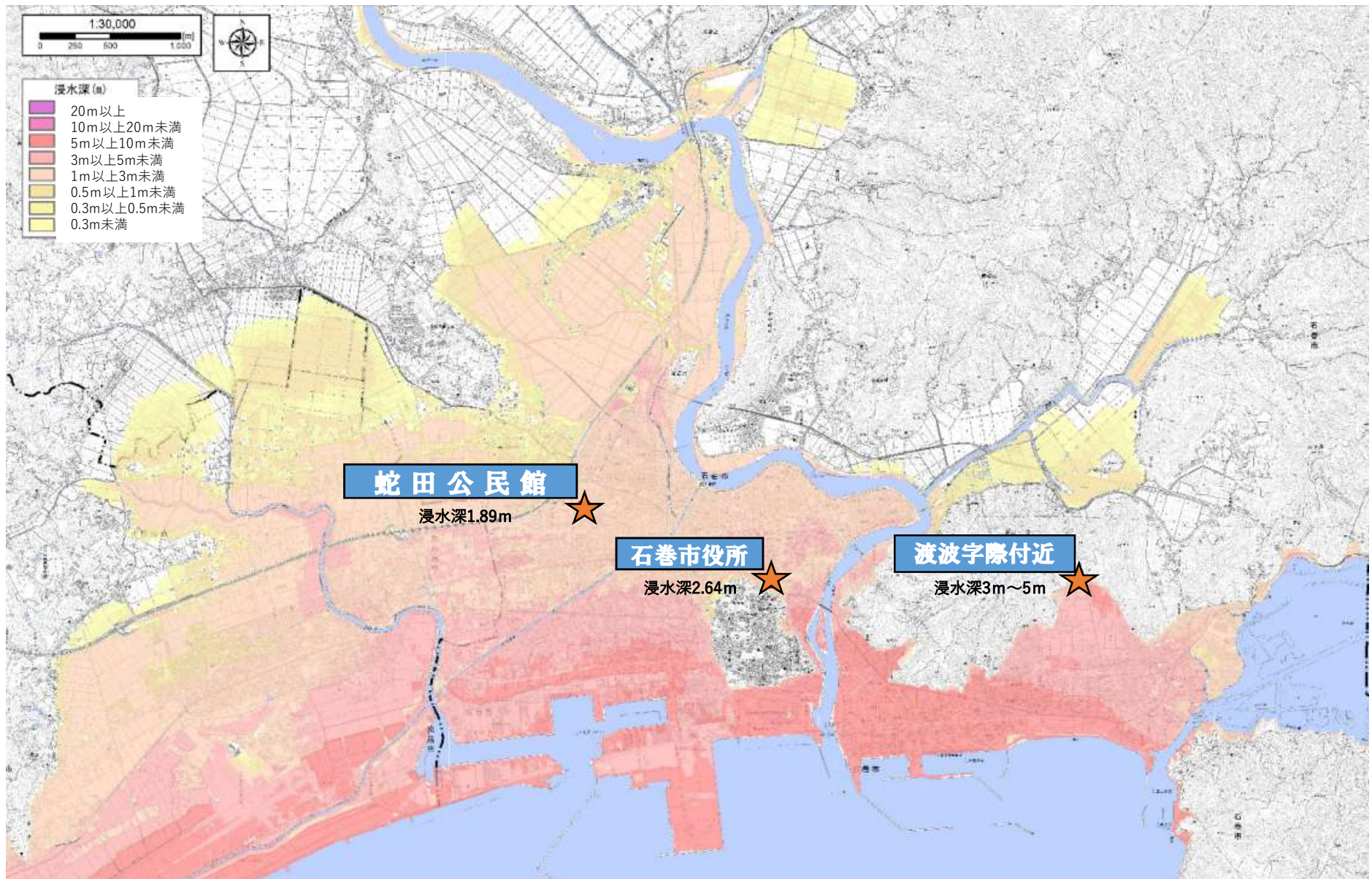
○移転に伴う跡地利用

豪雨と満潮が重なっても冠水しない安全な
地域とし、職の場として利用できる環境を創出

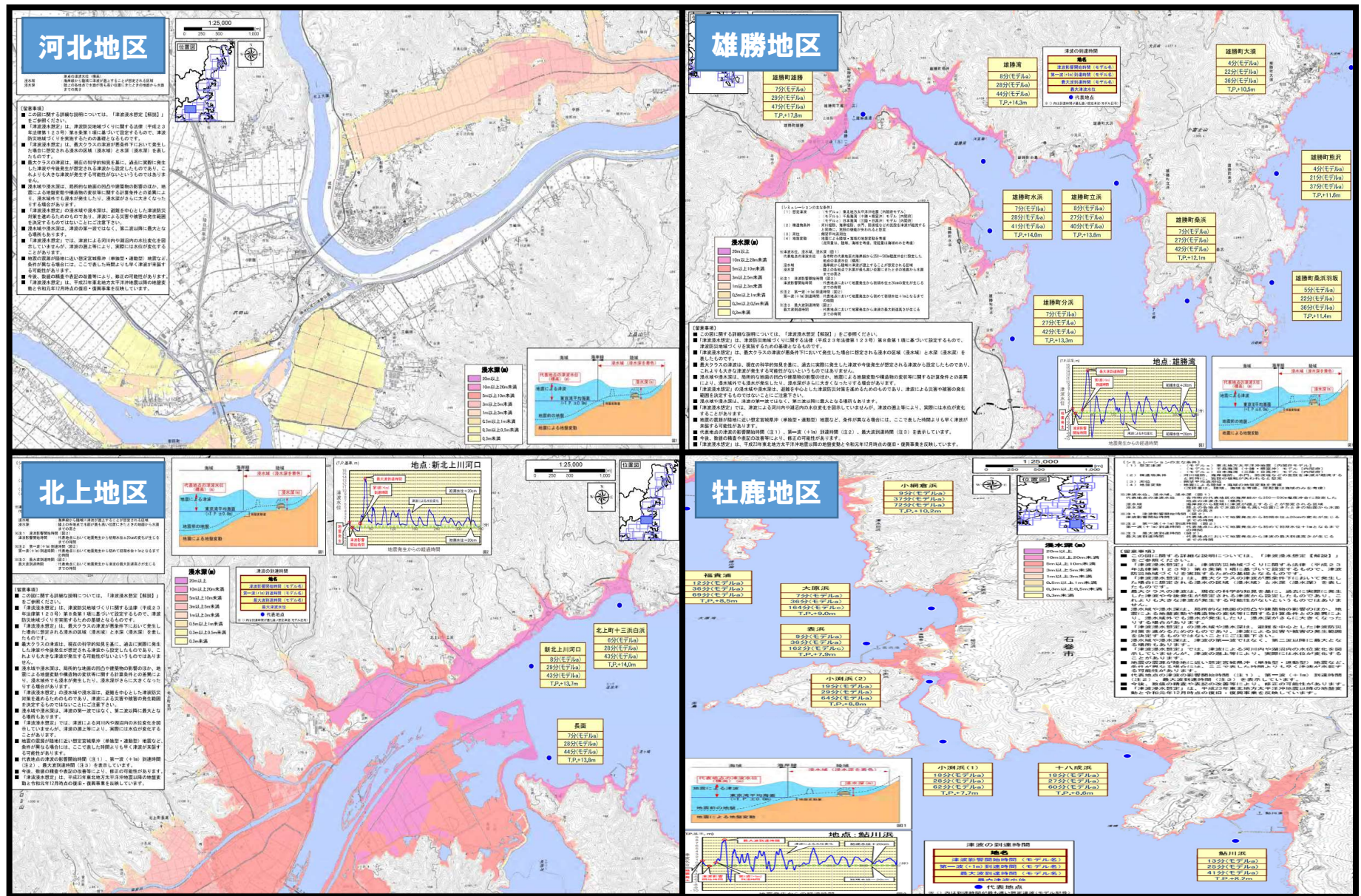


宮城県浸水想定シミュレーション浸水域図

5



宮城県津波浸水想定(抜粋)



津波から命を守るために

○迅速な避難をお願いします。

- ・堤防等があっても実際の津波の高さが堤防等の高さを上回る可能性があります。
- ・津波の襲来を完全に予測することは難しく、避難すべきか、すべきでないか即判断することは非常に困難です。
- ・ハード対策には限界があり、津波に対する完全防御は困難であります。津波による人的被害を軽減するためには、住民一人ひとりの素早い避難行動が、最も有効な津波対策であります。



○原則徒歩で避難してください。

- ・津波が来る前に、地震によって建物や電柱が倒壊したり陥没等で道路が遮断されることが考えられます。
- ・東日本大震災では、交通渋滞が発生し多くの方が車内で被災しました。



津波から命を守るために

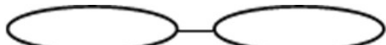
- 1 自分の位置（自宅、学校、勤務先など）周辺状況を確認する。
- 2 避難先を確認する。
 - ・ 家族が使う避難先の位置と名称を確認してください。
避難先には、避難場所や避難ビル等があります。
- 3 避難経路を考える。
 - ・ 海や川の近くなどで危険個所を避けて、避難先までの道順（避難経路）を考えましょう！
- 4 津波への対応を話し合う。
 - ・ 家族やご近所で「避難先」、「避難経路」、「避難時の危険個所」の情報を共有してください。いざという時に協力することが重要です。
- 5 自分の目で確かめる。
 - ・ 確認した避難先や避難経路を、実際に歩いて、避難の際に注意すべきことや知っておくべきことを確認しましょう。
- 6 非常用持出品を準備する。
 - ・ 日頃から避難する準備をしましょう。

高台に避難
してください



津波発生時に発令される警報等について

9

	予想される 津波の高さ	想定される被害	とるべき行動	防災無線の音
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	住宅は全壊、流出する。 人は流れに巻き込まれる。 	1 海辺で1分以上の長い揺れを感じたら津波がやってくるかもしれません。逃げましょう。 2 津波警報を知らせる放送やサイレンを聞いたらすぐに、できるだけ高いところに逃げましょう。 3 津波は繰り返しやってきます。警報が解除されるまで絶対に戻ってはいけません。	吹鳴<約3秒>3回  停止<約2秒>2回 
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	浸水被害が発生する。 人は流れに巻き込まれる。 		吹鳴<約5秒>2回  停止<約6秒> 
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	養殖いかだが流出する。 小型船が転覆する。 海の中の人速い流れに巻き込まれる。	海岸から離れる。 注意報が解除されるまで海に入らない。 海岸に近づかない。 	吹鳴<約10秒>2回  停止<約2秒> 

災害情報の収集について

スマートフォンやパソコンをお持ちの方

石巻市災害メール(登録制メール)

QRコードを読み取り
空メールを送信！



石巻市公式 LINE

QRコードを読み取り
友達追加！



石巻市公式 Twitter

QRコードを読み取り
フォロー！



石巻市公式 Facebook

QRコードを読み取り
フォロー！



スマートフォンやパソコンをお持ちでない方

0180-992-506
(災害情報テレホンサービス)

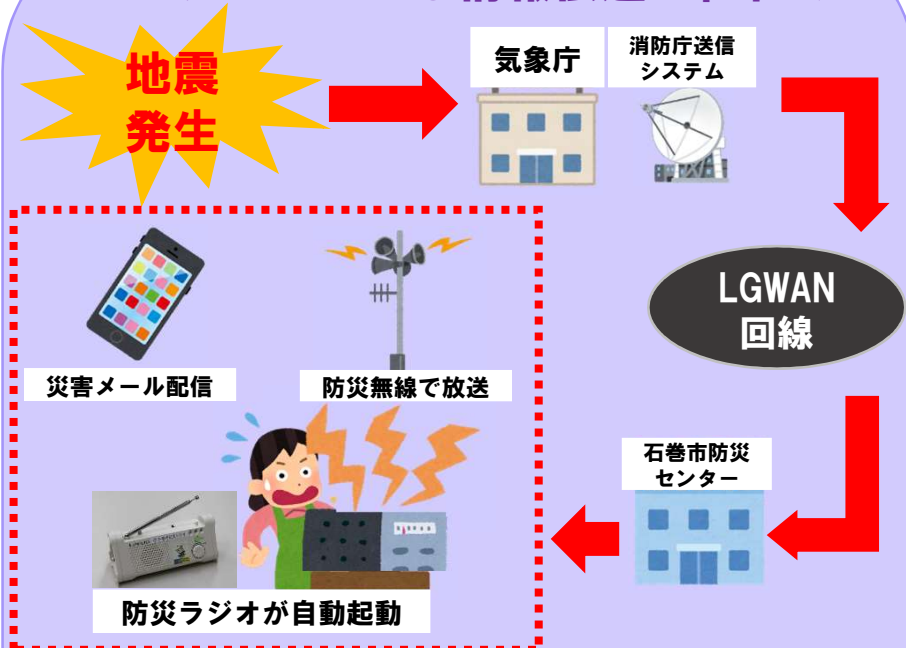


石巻市は、市民の皆様へ気象情報・災害情報等をメール配信するサービスを提供しております。

暴風雨の際に聞こえにくい**防災無線(屋外スピーカ)**の内容も文字でしっかり確認できますので、ぜひ登録をお願いいたします。配信方法については「メール」「LINE」「twitter」「facebook」で情報取得が可能です。

また、石巻市民を対象に無料配布している防災ラジオは災害時Jアラートと連動し緊急情報を自動受信できます。

Jアラートによる情報伝達の仕組み



防災ラジオは危機対策課(防災センター)、各総合支所、各支所にて無料配布しております。

「悪条件下での最大クラスの津波浸水想定」の公表を受けて

市としての今後の対応



検討事項・実施内容等

避難所や避難場所の確認・検討等



地域防災計画及び津波避難計画の見直し



津波ハザードマップの作成



津波を想定した避難訓練の実施



・現行の津波避難計画(マップ)は市HPによりご覧いただけます。 ※平成27年3月作成
(<https://www.city.ishinomaki.lg.jp/cont/10106000/8238/8238.html>)

・洪水ハザードマップは市HPによりご覧いただけます。 ※令和2年4月 作成
(<https://www.city.ishinomaki.lg.jp/d0010/d0010/d0100/index.html>)

※なお上記2つのマップの冊子版については危機対策課(防災センター)、各総合支所で配布しております。